

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

プロジェクト名	明日の人材を育てる教育文化のまちづくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成29年度	テーマ	教育・文化の振興	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>当町には現在9校の小学校と3校の中学校があるが、少子化に伴い児童・生徒数は年々減少しており、今後さらなる減少も予想される。その一方で学校教育に求められる役割はますます大きくなり、限られた財政の中で安心・安全で充実した教育環境を整備していくことが求められている。</p> <p>また歴史・文化の面でも、古墳公園は古代の歴史文化を今に伝え、国の重要伝統的建造物群保存地域に指定されたちりめん街道は、この地で開いた丹後ちりめんの文化を今に伝えるものであるし、町内には与謝野鉄幹・晶子夫妻が訪れ歌うを詠むなど、俳句・短歌文化にゆかりのある場所が多くあり、平成23年10月に開催された国民文化祭では俳句をテーマに様々な催しが行われた。これらの誇らしい歴史文化に住民が手で触れ、肌で感じるにより住民の愛郷心を育むことになるので、後生にも繋がるよう保存や環境整備をしていくことが求められている。</p> <p>一方、文化活動や生涯学習・生涯スポーツの振興、国際交流や人権学習の推進を通して住民が生きる活力を創出するために、図書館・公民館の整備、スポーツ施設の整備や、各種イベント・レクリエーションの開催・支援等の環境づくりを積極的に行うことも重要である。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>将来のまちを担う「明日の人材を育てる教育文化のまちづくり」を目指して、地域と共に育てる学校づくりや青少年の健全育成、生涯学習・生涯スポーツの振興や国際交流の推進に取り組み、誇らしいふるさとの文化を育てていく。また、すべてのまちづくりに関わることとして、一人ひとりの人権を大切にすまちづくりを進める。</p>						
	総事業費（千円）	80,050	本年度事業費（千円）	28,368	交付金額（千円）	7,957	
プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績(出来高数値等)							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村 実施事業	学校施設整備事業	交付対象事業	明日の人材を育む学校施設の整備事業。		4小学校、1中学校で施設・設備を整備。		
	古墳公園管理運営事業	交付対象事業	歴史文化を体験できる施設の整備事業。		高圧線関連装置設置工事。		
	生涯学習センター知遊館管理運営事業	関連事業	生涯学習センター知遊館管理運営事業。		トイレ修繕、エアコン吸収冷温水機修繕など。		
	体育施設整備事業	交付対象事業	体育施設整備事業。		山田小学校ナイター照明関連装置修繕。		
	給食センター整備事業	交付対象事業	給食センター整備事業。		調理機器整備、エアコン更新など。		
	子ども自然体験事業	交付対象事業	サマーキャンプの開催事業。		8月6日～9日に開催。39名参加。		
	教育振興事業	交付対象事業	社会科副読本「私たちの与謝野町」製作事業。		3年に1度改定版を発行（次回は平成28年度）。平成25年度は500部製作。		
	幼稚園施設整備事業	関連事業	町内2カ所の幼稚園整備事業。		遊具整備1基など。		
	適応指導教室運営事業	交付対象事業	学校生活に馴染めない児童・生徒の支援事業。		適応指導教室指導員の賃金等運営費3名分。		
	国際交流事業	関連事業	ウェールズ・アベリスツイスとの交流事業。		10月25日～11月5日、ウェールズ・アベリスツイスから5名の高校生を受け入れ、交流した。		
	ちりめん街道活性化事業	関連事業	重要伝統的建造物群保存地区である「ちりめん街道」の活性化事業。		マスタープラン作成関連事業（イメージパース作成）。		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

住民協働事業	与謝野町岩滝大名行列継承事業	関連事業	岩滝地域で150年の歴史がある伝統文化継承事業。	次回開催は平成33年。	
	青少年健全育成事業	関連事業	青少年健全育成会による事業。	町内各所で実施。	
	芸術文化振興事業	関連事業	国民文化祭等の芸術文化振興事業。	第2回与謝野町俳句大会 事前投句6月20日～8月19日 986名投句、俳句大会12月8日 200名来場。	
住民が取り組む事業	イギリス兵捕虜の手記「憎悪と和解の大江山」を紙芝居にし子どもたちや地域の人たちに伝える活動	関連事業	イギリス兵捕虜の手記「憎悪と和解の大江山」を紙芝居にし子どもたちや地域の人たちに伝える活動。	マザーグースの会主催により、町内各所で実施。	
成果指標①	成果指標の目標数値	学校教育に協力する住民の増加 (H23: 80人⇒H29: 100人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度95人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由) 各種委員等の住民参画や学校支援ボランティアの構築、各種情報周知活動の強化による。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標②	成果指標の目標数値	図書館の貸し出し冊数の増加 (H23: 年間121,447冊⇒H29: 年間125,000冊)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度年間142,206冊
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由) 貸出冊数の上限引き上げによる。引き続き利用者の要望に応じていく。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標③	成果指標の目標数値	スポーツ施設利用者数の増加 (H23: 年間103,272人⇒H29: 年間110,000人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度年間94,627人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 一部施設での長期間改修工事が主な要因。計画的な改修と利用者配慮した施設の在り方を検討し、利用者増に努める。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標④	成果指標の目標数値	公民館活動への参加者の増加 (H23: 年間25,444人⇒H29: 年間26,000人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度年間21,952人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由) 高齢化・人口減少という構造的な要因に加え、雨天による事業中止などの特殊要因がある。引き続き公民館活動の活性化に努める。		
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

成果指標 ⑤	成果指標の目標数値	ウェールズ・アベリスツィスへの高校生派遣の推進 (H23まで：52人⇒H29：70人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度58人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	引き続き相互派遣交流を行い、定期的な高校生派遣を推進していく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標 ⑥	成果指標の目標数値	文化・芸術を楽しむ事業への参加者数の増加 (H23：年間10,327人⇒H29：年間10,500人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度年間10,389人
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	各種事業の実施により、引き続き参加者の増加に繋げていく。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
成果指標 ⑦	成果指標の目標数値	人権学習参加者数の増加 (H23：年間827人⇒H29：年間900人)		成果指標の実績値 (平成26年3月31日時点)	平成25年度年間741人
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	町主催事業では増加傾向にあるが、各地区公民館主催事業で減少傾向にある。参加者数増加のため引き続き支援等を行う。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	—	(時期)
本年度の事業実績が 成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	教育文化施設の環境整備や、教育文化やスポーツに触れ合う機会の創出に努めることで、住民の理解と協力を得られ、積極的な参画に繋がっている。 しかしながら、いくつかの成果指標については、少子高齢化や人口減少の問題もあり参加者数の減少となっている。今後も、広報活動や様々な取組を通じて参加者数の増加に繋がるように努めていく。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。				

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成25年度分）

団体名：与謝野町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	町の行う教育文化・スポーツの環境整備事業だけでなく、関連事業で住民自らが取り組む様々な事業を行うことができ、町全体が一体となって誇らしいふるさとの文化やスポーツを通じて様々な人々と交流する喜びを共有できている。
	府と市町村等との連携に資する成果	地域活性化に有効と思われる事業は府と連携して支援にあたった。
	住民の自治意識を高める成果	町の継承すべき貴重な文化や伝統を住民自らが再発見し、合併後の新町でそれを共有することができた。生涯スポーツの分野でも住民が中心となって平成23年度には全日本シニアソフトボール大会を成功させるなど、全国から来られる選手たちのために知恵を出し合い、不足する部分は行政が支援するなど、住民と行政が協働して取り組むことができ、大きな成果をあげることができた。
	リーディング・モデル成果	少子化が進む中で、当町にとっても子どもたちは貴重な宝であり、心身の成長とともに自分たちの住む地域を愛する心を持って成長できる教育を推進することで、未来を担う人材の育成に繋がる。 また、継承すべき伝統文化にあらためて触れることで、愛郷心が生まれ、この地域に誇りを持つことができるようになる。
	広域的波及成果	町の継承すべき貴重な文化や伝統を住民自らが再発見し、合併後の新町でそれを共有することができた。旧町単位での取り組みも、住民自らが気運を盛り上げることで全町に波及する取組に発展した。
	行財政改革に資する成果	教育文化施設の改修整備などにより施設の長寿命化を図っている。
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。